

英語

関西大学 全学日程 (2 / 2 実施)

<全体分析>

試験時間

90分

解答形式

マークセンス方式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (**易化**・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

会話問題1題, 文整序問題1題, 長文総合問題2題で, 読解問題中心の出題。

その他トピックス

特になし。

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
〔I〕	その他	A 会話問題	友だち同士で梅田に行く計画をするという設定。空所の前後のやりとりに注意して会話が成立するよう適切な選択肢を選ぶ(四択)。英語特有のイディオムはない。	易
		B 文整序問題 (234語)	日本の SNS 利用者数ランキングに関する文章を5つのブロックの順番を並べ替えて論理的な一つのまとまった文章に仕上げる問題。ランキングなので順位を表す“come in second” “be followed by” “top”などの表現のほか “on the other hand”などの論理マーカーを手掛かりに解いていく。	やや易
〔II〕	読解総合	「日本の鶏のから揚げ人気」 (983語) 〔出典〕 <i>The world's surprising fried chicken capital</i> by Paul Feinstein (BBC)	A 空所補充問題 (四択) : 文脈から適切なものを選ぶ語(句) (名詞, 動詞, 形容詞, 副詞) や論理マーカーの問題のほか, 前置詞や接続詞など機能語の扱いに関する問題が混じる。 B 内容一致問題 (三択) : 本文中の内容を別の言葉で言い表したものを選ぶ力が問われる。言い換えに柔軟に対応できる語彙力と文法力が試される。	やや易
〔III〕	読解総合	「遺伝子と成功の関係」 (799語) 〔出典〕 <i>The Truth About Talent (When Genes Matter And When They Don't)</i> by James Clear (KAIZEN ACADEMY)	A 本文中に下線が引かれた語(句) や文の意味を正しく言い換えた選択肢や具体例を選ぶ問題 (三択) : 成句は知識だけでも解けるが, それ以外は単語の意味を知っているだけでは不十分である。前後の文をよく読み, パラグラフ全体のアイデアを把握して論理的に考える。 B 内容一致問題とタイトル問題 (三択) : (5)はAかBかで悩む。(7)のタイトル問題は, キーワードをはずさないようにして選ぶ。	やや易

注 : 区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

全体的に単語レベルは標準。イディオムの類いの出題は少ない。大問ⅠのAは総じて関西大学の学生同士の会話という設定で日常的な場面が描かれる。買い物や勉強のことなど大学生活に関連する用語や表現を幅広く覚えておくと役立つ。同B文整序問題の対策としては、長い文章を読むときに、代名詞や論理マーカーに気をつけて、論理の流れを意識しながら読む技術を身に着けることが重要である。関西大学では独立した文法・語法問題は出題されないが、大問Ⅱで文法や語法の知識を試す問題が語彙問題とともに出題される。文法学習は軽視せず地道にやっておくこと。英文の内容を理解するうえで文法や語法の知識は欠かせない。大問Ⅲは単語レベルから文レベルまで、その意味するところを正しく伝える選択肢を選ぶ問題が出題される。語彙、文法、論理の力が総合的に試されるので、英文読解では、丁寧な読み、正確な読みを徹すること。